

エボニック、ポリウレタン添加剤生産拠点におけるグリーン電力への切り替えを完了

2025年5月13日

- ・ シリコンおよびアミンのプラットフォームを含む全世界のポリウレタン添加剤生産拠点におけるグリーン電力への切り替えを完了
- ・ このエネルギー転換は、エボニックの全事業における持続可能な生産活動と排出削減に対するコミットメントを強調
- ・ 消費者や産業界におけるサステナビリティへの要求の高まりに対応する能力を強化

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン、以下「エボニック」)は、世界各地のポリウレタン添加剤生産施設で使用する電力をグリーン電力に切り替え、持続可能な社会の実現に向けての取り組みをさらに推進します。現在、コンフォート&インシュレーション部の各国のポリウレタン添加剤生産拠点での全工程が、グリーン電力で稼働しています。

アミンおよびシリコンのプラットフォーム、ならびに米国ホープウェルから日本の伊勢原に至るまで、ポリウレタン添加剤の小規模生産拠点におけるグリーン電力への転換は、持続可能な生産活動と排出削減に対するエボニックのコミットメントを明確に示しています。エボニックは、サステナビリティ戦略の一環として、2030年までにスコープ1と2の排出量を25%、スコープ3の排出量を約11%削減することを掲げています。さらに、2050年までにクライメイト・ニュートラル(気候中立)の実現を目指しています。

エボニックは、持続可能性を重視しながら生産効率や能力を向上させることで、ポリウレタン業界の信頼できる長期的なパートナーとしてのポジションを強化し、自動車、建築、コーティング、家具、消費財などの市場で進化するお客様の需要に柔軟に対応します。

コンフォート&インシュレーション部の責任者ロベルト・ヴィラケラー(Roberto Vila-Keller)は、「アミンおよびシリコンのプラットフォームは、当社が提供する製品群の基盤であり、グリーン電力への転換は重要なマイルストーンとなります。すべてのポリウレタン添加剤の生産拠点が再生可能な電力を利用し、化石由来原料を削減する努力を続けていくことで、当社は、持続可能なソリューションを求めお客様の声の高まりや、環境に優しいポリウレタン業界の今後に向けた取り組みに貢献します」と述べています。

グリーン電力への転換は、グリーン電力証書と、電力購入契約(PPA)として知られる再生可能電力供給契約によって実現することができました。これらの契約により、数年前から各拠点で再生可能エネルギーの確実かつ安定的な供

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

給が可能となっています。例えば、ドイツ・ヴィッテンブルクの離型剤生産拠点では、2022年初頭から再生可能電力契約を活用しています。

コンフォート & インシュレーション部生産・技術責任者であるチャド・ヘネケ (Chad Henneke) は、「ポリウレタン添加剤の生産と共有資産である工場をすべて再生可能エネルギーで稼働させることを目指し、チーム全体が取り組んできたことを大変誇りに思います。お客様の事業をサポートすると同時に、環境にもプラスの影響を与える生産方法を開拓することで、環境スチュワードシップとフットプリント削減に尽力しています」と述べています。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2024年度は、152億ユーロの売上、21億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、約 32,000 人の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2025年5月8日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)